

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分  
 【発行日】平成 19 年 1 月 25 日 (2007.1.25)

【公開番号】特開 2005-174174 (P2005-174174A)  
 【公開日】平成 17 年 6 月 30 日 (2005.6.30)  
 【年通号数】公開・登録公報 2005-025  
 【出願番号】特願 2003-416172 (P2003-416172)  
 【国際特許分類】

**G 0 6 F      3/12      (2006.01)**

**B 4 1 J      29/38      (2006.01)**

【 F I 】

G 0 6 F      3/12      C

G 0 6 F      3/12      K

B 4 1 J      29/38      Z

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 11 月 22 日 (2006.11.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

印刷装置と通信可能な情報処理装置であって、

再印刷のために保持手段に保持された印刷ジョブのデータを、印刷完了の確認に応じて開放する保持制御手段と、

印刷制御プログラムの起動時に保持手段に保持された印刷ジョブのデータの有無を調べる手段と、

前記調べる手段により見つけられた印刷ジョブのデータに関連付けられた再印刷設定に応じて前記保持手段に保持された印刷ジョブのデータの再印刷を促す手段と、  
 を有することを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

前記再印刷設定の設定内容は変更可能であることを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記再印刷設定には、前記促す手段により再印刷を促す期限が含まれており、前記期限を超過しているか否かを判定する判定手段を有し、前記促す手段は、前記判定手段により期限を超過していると判定された場合には再印刷を促すことなく、期限を超過していないと判定されれば再印刷を促す表示を行なうことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記保持手段に保持される印刷ジョブのデータは中間形式ファイルのデータであり、前記中間形式ファイルのデータに基づくメンバジョブの印刷処理を行なう印刷処理手段を有し、前記保持制御手段は、前記メンバジョブの完了に基づき前記中間形式ファイルのデータを開放することを特徴とする請求項 1 から 3 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記再印刷設定において前記促す手段による再印刷の促しが無効に設定されている場合には、前記保持制御手段により保持された印刷ジョブのデータに基づく再印刷を促さない

ことを特徴とする請求項 1 から 4 の何れか 1 項に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

印刷装置と通信可能で印刷ジョブのデータを保持する保持手段を備える情報処理装置における印刷処理方法であって、

印刷制御プログラムの起動時に、再印刷のために印刷ジョブのデータを印刷完了が確認されるまで保持された印刷ジョブのデータを有無を調べる工程と、

前記調べる工程において見つけられた印刷ジョブのデータに関連付けられた再印刷設定に応じて前記保持手段に保持された印刷ジョブのデータの再印刷を促す工程と、

を有することを特徴とする印刷処理方法。

【請求項 7】

前記再印刷設定の設定内容は変更可能であることを特徴とする請求項 6 に記載の印刷処理方法。

【請求項 8】

前記再印刷設定には、前記促す工程において再印刷を促す期限が含まれており、前記期限を超過しているか否かを判定する判定工程を有し、前記促す工程は、前記判定工程により期限を超過していると判定された場合には再印刷を促すことなく、期限を超過していないと判定されれば再印刷を促す表示を行なうことを特徴とする請求項 6 又は 7 に記載の印刷処理方法。

【請求項 9】

前記保持手段に保持される印刷ジョブのデータは中間形式ファイルのデータであり、前記中間形式ファイルのデータに基づくメンバジョブの印刷処理を行なう印刷処理工程を有し、前記保持手段は、前記メンバジョブの完了に基づき前記中間形式ファイルのデータを開放することを特徴とする請求項 6 から 8 の何れか 1 項に記載の印刷処理方法。

【請求項 10】

前記再印刷設定において前記促す工程において再印刷の促しを行うことが無効に設定されている場合には、前記保持手段に保持された印刷ジョブのデータに基づく再印刷を促さないことを特徴とする請求項 6 から 9 の何れか 1 項に記載の印刷処理方法。

【請求項 11】

請求項 6 から 10 の何れか 1 項に記載の印刷処理方法をコンピュータに実行させるためのプログラム。

【請求項 12】

請求項 11 に記載のプログラムをコンピュータ可読の形態で格納した記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、再印刷の仕組みに関する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、印刷が正常終了を確認できなかった場合でも印刷を保証できる印刷制御方法及び情報処理装置並びに制御プログラム及び記録媒体において、再度印刷ジョブの出力を効率的に行えるようにすることを目的とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 7 】

上述の目的を達成するために、印刷装置と通信可能な情報処理装置に、再印刷のために保持手段に保持された印刷ジョブのデータを、印刷完了の確認に応じて開放する保持制御手段と、印刷制御プログラムの起動時に保持手段に保持された印刷ジョブのデータの有無を調べる手段と、前記調べる手段により見つけられた印刷ジョブのデータに関連付けられた再印刷設定に応じて前記保持手段に保持された印刷ジョブのデータの再印刷を促す手段と、を備えさせることを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

以上、詳細に説明したように、本発明によれば、プリンタから印刷終了の通知を受信しないまま、印刷制御プログラムが起動された場合に、再度印刷ジョブの出力を効率的に行なうことができ、印刷を保証できる。